

1. 履修単位 4 単位
2. 実施日時 令和 3 年 1 2 月 3 日（金）第 1 時限
3. 学 級 1 年 3 組（38 名）
4. 使用教科書 LANDMARK English Communication I Revised Edition（啓林館）
5. 単 元 名 Lesson 9 Space Elevator
6. 単元設定の理由

○題材観

本単元は、今世紀半ばに実現が期待されている宇宙エレベーターを取り上げ、その仕組みや、その実現を支える科学技術について説明し、ロケットより省エネで環境にも優しいということにも言及している。ここで学習する背景知識や豊富な言語材料を用い、宇宙エレベーターについて聞いたり読んだりしたことをもとに、英語で自分の考えを表現することにつなげたい。また、仮定法過去や倍数表現の学習を通して、現在の事実とは異なる仮定や願望を表したり、より具体的に物事を比較したりしながら、自分の考えを効果的に伝える力の向上に適した題材である。

○指導観

本単元は、本文の内容理解をもとに、自分の考えを表現するのに適した内容となっている。そこで、「CAN-DO リスト」の「話すこと①」に関する指導と位置付け、自分の考えを伝えるために必要な構成や表現方法に焦点を当てた指導を行う。自分の考えを明瞭に伝えるために工夫すべき点や効果的な表現を生徒から引き出し、必要があれば整理するなどして、知識や言語材料を十分に持たせてから発表に取り組ませ、グループの全員で意見を交換し内容を深め合う言語活動を目指したい。

7. 単元の主な目標

- (1) 宇宙旅行について興味を持ち、自分の考えを積極的に伝える。
- (2) 宇宙エレベーターについての内容を口頭で説明するとともに、宇宙旅行についての自分の考えを、話したり書いたりして、適切に伝える。

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連→「話すこと①」

- (3) 宇宙エレベーターについての説明を聞いたり読んだりして、情報を的確に理解する。
- (4) 仮定法過去や倍数表現を用いた文の構造と意味を理解する。

8. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
宇宙旅行について興味を持ち、自分の考えを積極的に伝えようとしている。	①宇宙エレベーターについての内容を口頭で説明することができる。 ②宇宙旅行についての自分の考えを、話したり書いたりして、適切に伝えることができる。	宇宙エレベーターについての説明を聞いたり読んだりして、情報を的確に理解することができる。	仮定法過去や倍数表現を用いた文の構造と意味を理解している。

9. 指導と評価の計画

時間	ねらい	本課の 評価規準	評価方法
1	本課で学習する文法事項について構造や意味を理解する。	エ	後日ペーパーテスト
2	Part 1, 2 を聞いたり読んだりして、概要や要点を把握し、内容に関する質問に答える。	ウ	後日ペーパーテスト
3	Part 3, 4 を聞いたり読んだりして、概要や要点を把握し、内容に関する質問に答える。	ウ	後日ペーパーテスト
4	本文全体を振り返り、内容を口頭で説明する。	イの① ウ	活動の観察
5	宇宙旅行について、自分の意見をスライドにまとめる。	イの②	活動の観察
⑥	宇宙旅行について、グループごとにプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。	ア イの②	活動の観察 プレゼンテーション
7	〈ペーパーテスト〉 ◇倍数表現と仮定法過去を用いた英文についての理解をみる問題 ◇本文の内容理解を確認する問題	エ	ペーパーテスト
		ウ	ペーパーテスト

○は本時

10. 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第1学年）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
①話の感想を簡単に述べる ことができる。 ②短い対話ができ、補助を得ながら相手に理解してもらうことができる。	コミュ英 Ⅰ・英表Ⅰ ・発表 ・インタビューテスト等	①情報の大意を踏まえ、書くことができる。	コミュ英 Ⅰ・英表Ⅰ ・英語作文 ・記述練習 ・課題提出 ・定期考査	①テキストの聞きなれた単語や表現を理解することができる。 ②授業で教師の話すことが理解できる。	コミュ英 Ⅰ・英表Ⅰ ・リスニングテスト ・定期考査	①辞書なしでテキストの重要なポイントを理解することができる。 (1分間で80字以上)	英表Ⅰ ・リーディングテスト ・定期考査

1 1. 本時（第6時）の指導過程

(1) 目標

宇宙旅行について、グループごとにプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的な評価規準	評価方法
2分	1 授業内容を知る。	・簡単な Small Talk により、英語の授業の雰囲気づくりに努める。		
5分	2 示された例を基にして、本時の目標を理解する。	・発表の例を示して、活動の見通しを立てさせる。 ・ワークシートを配布する。 ・プレゼンテーションの評価基準を伝える。		
10分	3 グループでツアーを企画してMetaMojiのスライドを作成する。	・グループ内で選んだ発表をブラッシュアップするよう指示する。 ・スライドのデザインに凝りすぎて発表の中身が二の次にならないよう注意を促す。 ・机間巡視を行い、タブレットの使い方などを補助しながら、生徒同士が助け合うのを促す。	ア	活動の観察
8分	4 発表練習をする。	・発表する際と聞く際の注意点を伝える。 ・代表が前に出て原稿を見ずに発表するよう指示する。 ・質疑応答についても予想できる範囲で準備をしておくよう指示する。		
22分	5 グループごとに発表する。	・他の発表を聞く際に、どのツアーに参加したいか考えながら聞くよう伝える。	イの②	プレゼンテーション
3分	6 振り返りと本時のまとめを行う。	・目標が達成できたかどうか自己評価をさせる。		

「十分満足できる」と判断される状況	グループで積極的に意見交換しながら発表準備を行い、自分たちの発表をわかりやすく聞き手に伝えようとしている。また、質問されたことに的確に応答している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	原稿がなくても発表できるように、スライドに必要な情報を書いておくよう提案する。質問に答える際には、代表者だけでなくグループで取り組むよう指示する。